

IT 業界向けマーケティングサービスで圧倒的な実績を誇るウイングアップ・パートナーズが選択したアリビオ・バックアップ。その BCP を意識した安全で確実なデータ管理が同社の重要営業ツールに

マイクロソフト、沖電気工業、ユニアデックスなど、IT 業界の大手企業に向けマーケティングサービスを提供する株式会社ウイングアップ・パートナーズ(以下、ウイングアップ・パートナーズ)。15 年におよぶその実績を通じて、IT 業界の多くのお客様から高い評価を受けています。カタログ、リーフレットなどの文書類から、Web サイト、ビデオなど多岐にわたるコンテンツを制作する同社では、これらのデータの安全なバックアップに苦慮していました。特に、微調整が繰り返されるデザイン系データを、更新の都度、安全かつ確実にバックアップしたいと考えていた同社が、熟慮の末選択したのは、株式会社ユニマインド・テクノロジー(以下、ユニマインド・テクノロジー)が提供するリアルタイム遠隔バックアップサービス「アリビオ・バックアップ」でした。

■ 以前の課題と導入の経緯

社内にバックアップ用 HDD を配備するも、手間とパフォーマンス劣化で1日に1回の運用に



ウイングアップ・パートナーズ
代表取締役 丸山浩 氏

同社では、PC のクラッシュによりデザインデータを失ってしまった過去の経験を教訓として、既に 2007 年から社内 LAN に共有ハードディスクを接続し、バックアップ運用を行っていました。しかし、その導入効果は決して満足いくものではなく、いくつかの課題を抱えていました。

「更新が発生するたびにバックアップしたいという要求がありましたが、手作業でいちいち更新データを共有ハードディスクにコピーするという操作では運用負荷が大きすぎますし、バックアップソフトを使用すると一度に大量データを退避するため、PC 上での作業のパフォーマンスが劣化します。このため、1 日に1回の更新という運用になっていました。決して十分とは言えませんが、仕方がないと思っていました」(丸山 氏)。

BCP 検討の中で、リアルタイム遠隔バックアップサービス「アリビオ・バックアップ」に出会う

もうひとつの課題は、BCP(事業継続計画)の実現でした。多くのお客様を抱えるウイングアップ・パートナーズでは、自社のシステム障害などによって納品時期が遅延するといったリスクを排除し、継続的なサービスを提供するする必要がありました。社内 LAN に接続された共有ハードディスクは、PC のクラッシュ等には

対応できますが、オフィス自体が大きなダメージを受ける漏水や火災などを考えると、「バックアップデータの社外退避」が必要ではないかと同社では考えるようになりました。

丸山氏の指示を受けた、同社クリエイティブ・ディレクターの志村潤一氏は、以下に示すような要件をまとめ、これを満たすことのできるバックアップシステム/サービスの選定を開始しました。

- 更新の都度、対象データを社外に退避できるリアルタイムなバックアップ機能があること
- システム/サービスの導入および運用が楽であり、専任の担当者が不要であること
- バックアップ中でも、PC 上での業務処理にパフォーマンスの劣化などが発生しないこと
- コストパフォーマンスが高いこと

候補となる多数のシステムやサービスに対する評価が実施される中、インターネット上で「リアルタイム遠隔バックアップ」というキーワードを掲げるアビリオ・バックアップを見つけた志村氏は、早速評価版を入手しテストを開始。約 2 週間の評価期間を経て、ウイングアップ・パートナーズでは、アビリオ・バックアップの正式導入を決定しました。

■ アビリオの特徴と今回の利用形態：

簡単なインストール・設定のみで即座に使用開始。リアルタイムな遠隔バックアップを実現

アビリオ・バックアップ選定の決め手となったのは、先にあげた要件の中でも、特に「リアルタイム性」と「遠隔バックアップ」機能が実現できる点でした。志村氏は、「本当の意味での“遠隔”対応と“リアルタイム”の両方を実現できたのはアビリオ・バックアップだけでした」と話します。

アビリオ・バックアップは、その導入にあたって、ダウンロードした専用のクライアント・アプリケーションを PC にインストールし、簡単な設定を行うことで、すぐに利用を開始することができます。「専用の設定画面で、対象フォルダを指定し、“リアルタイム”、“差分”などのバックアップモード、そしてスケジュール等、数項目を選択するだけの簡単な操作で利用を開始できました。一般的な PC ユーザーであれば、15 分程度で利用を開始できると思いました」(志村氏)。アビリオ・バックアップは、この専用アプリケーションとインターネット回線を使用して、札幌、福岡にあるバックアップサーバ 2 台に、データをバックアップします。ウイングアップ・パートナーズの懸案であった更新の都度のバックアップも“リアルタイム”モードを選択することで簡単に実現できました。さらに、万が一障害が発生した場合のデータ・レストア(復元)も、バックアップ手順と同様簡単なものとなっており、Web ブラウジングできるインターネット接続環境さえあれば、バックアップデータを PC 上に素早く復元することができます。



ウイングアップ・パートナーズ
クリエイティブ・ディレクター
志村 潤一 氏

常時、10 近いプロジェクトを抱えるウイングアップ・パートナーズでは、現状、数十ファイルにおよぶデザインデータなどをアビリオ・バックアップによって安全に管理しています。志村氏は、「自前のシステムを持つのではなく、アビリオ・バックアップを利用することで、最小限の作業負荷・導入期間で安全なデータ環境を構築

することができました」と強調します。

■ 導入効果

バックアップを意識させないスムーズな使用感を実現。さらに「安全なデータ保護」が営業時のアピールポイントに

導入効果は明確に現れました。以前の LAN に接続されたハードディスクによるバックアップ運用では、パフォーマンスの劣化に悩まされたウイングアップ・パートナーズですが、アリビオ・バックアップでは、その状況が一変しました。「更新の都度、バックアップを取っているにも関わらず、PC 上の操作では、それ意識させるパフォーマンス低下などが見られませんでした。導入以前と何も変わらない使用感で安全なデータ退避ができることが、アリビオ・バックアップサービス導入の最も大きなメリットだと実感しました」(志村氏)。

最後に丸山氏は、「このような安全対策は、トラブル発生時のリスクの最小化という意味でメリットとなります。しかし、もっと大きな導入効果として気付いたのは、弊社のようにお客様の情報を扱うことが多い会社にとって、このような仕組みを導入していること自体が、営業時の強力なアピールになる点です。同様のマーケティングサービスを提供する複数の会社の中で、競合優位性を保つためのポイントのひとつとして、情報の安全な確保やサービスの継続的な提供を証明できることが、大きな意味を持つからです。現在では、アリビオ・バックアップが、ウイングアップ・パートナーズの営業上の重要なツールとなっていると言っても過言ではありません」と締めくくりました。

【顧客プロフィール】

- 顧客名称: 株式会社ウイングアップ・パートナーズ
- 顧客 URL: <http://www.wingup-pt.com/>
- 所在地: 〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南 1-9-2 A-Iビル 302 号
- 代表取締役: 丸山浩
- 業務内容: IT 企業向けマーケティングサービス(コンサルティング、各種制作他)の提供

アリビオバックアップに関するお問合せ、ご注文は

株式会社ユニマインド・テクノロジー

〒192-0911 東京都八王子市打越町2003-1グランデール北野3F

Phone 042-632-1520 FAX 042-632-1521

URL: <http://www.uni-mind.co.jp/AlivioBackup/index.html>

Email: sales@uni-mind.co.jp